

ストレスと健康・全国調査 2013～2015

：世界精神保健日本調査セカンドに ご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野では、ストレスと健康・全国調査 2013～2015：世界精神保健日本調査セカンド（精神疾患の有病率等に関する大規模疫学調査研究）を実施しました。

【研究課題】

精神疾患の有病率等に関する大規模疫学調査研究：世界精神保健日本調査セカンド（審査番号：10131-(6)）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・精神保健学分野（主任研究機関）

研究責任者 川上憲人・東京大学大学院医学系研究科・教授

担当業務 データ収集、データ解析

【共同研究機関】

研究機関 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所（立森久照・室長）

公立大学法人福島県立医科大学（堀越直子・助教）

聖路加国際大学（梅田麻希・准教授）

労働安全衛生総合研究所（山内貴史・研究員）

熊本大学医学部（小山明日香・研究員）

担当業務 データ解析

【研究期間】

2013年5月13日～2018年5月13日

【対象となる方】

2014年3月1日～2017年3月5日の間に、日本全国にお住まいの地域住民の方で、面接または調査票に回答した方。

【研究の意義】

私たちの研究グループが2002年から2006年にかけて行った「第1回こころの健康についての疫学調査」では、日本におけるうつ病や自殺などの心の健康問題の頻度や受診行動の実態、子ども時代の経験が心の健康問題に与える影響、心の健康問題が生活に与える影響などが明らかになりました。今回の研究では、第1回調査と同じ方法・内容の調査を行い、過去10年間の日本の心の問題やその影響の変化を明らかにすることを目的としています。特に今回の調査では、日本

全国にお住いの地域住民の方々を無作為（ランダム）に選んで研究へのご参加をお願いするため、心の健康問題に関する日本全体の状況を明らかにすることができます。また本調査では、心の健康問題に関する地域調査の方法を改善してより正確な調査ができるように、調査方法の評価を行います。

【研究の目的】

本調査は、2010年代半ばの日本地域住民における心の健康問題の頻度や影響、またそれらに影響を与える要因について検討することを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

調査をお願いする方は、日本全国から日本人の代表としてランダムに選ばれた地域住民の方です。まず、全国から人口規模を考慮してランダムに自治体（市区町村）を選びます。次にその自治体に許可を得て住民基本台帳を閲覧し、20歳以上75歳までの住民をランダムに選びます。年度ごとに、関東地方、北陸・東北・北海道地方、関西・中四国・九州地方および沖縄を調査します。また東日本大震災で被災された方（福島県仮設住宅にお住まいの方）について調査を追加します。

世界保健機構（WHO）が作成したこころの健康についての調査法を用いた訪問面接調査です。質問票がはいったコンピューターを使って面接します。自己記入式調査票（いわゆるアンケート）にもご回答いただきます。皆様にご回答いただいたデータは、分析する前に、調査会社で氏名・住所・生年月日などの個人情報情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、分析に用います。

共同研究機関である国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、公立大学法人福島県立医科大学においてもデータの分析を行います。上記の処理を施し、個人が特定されないようにしたデータ（面接調査と自己記入式調査への回答）がUSBに保存され、上記研究機関の研究責任者に宅急便などの追跡可能な郵送手段で送られます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。ご回答いただいた情報・データ等は、分析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において川上憲人が、**個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管**します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

ご回答いただいた情報・データ等は、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、公立大学法人福島県立医科大学に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で送られます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事

務局まで 2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（精神障害分野））から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、ご回答いただいた方への謝金はございません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野・精神看護学分野

担当者：川上憲人

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5841-3364 FAX：03-5841-3392

メールでのお問い合わせ：kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。